

# 平成 25 年度 事業計画

## 1 事業展開方針

(1) (仮称) 成田空港活用協議会設立準備会において、本協議会で取り組む事業として体系化した「事業の6本柱」(①～⑥)に沿って事業展開を図る。

[事業の6本柱]

- ① 国内線利用者の県内観光の推進
- ② インバウンド県内観光の推進
- ③ 成田空港発の県内企業ビジネスの創出
- ④ ナリタファンの拡大
- ⑤ OUR AIRPORTとしての利用促進
- ⑥ 成田空港の利便性向上

(2) 初年度においては以下の活動に重点をおく。

- ・ 協議会の理念や活動内容について広く発信し、認知度を高め、次年度以降の事業拡大へとつなげるため、積極的にプロモーション活動を行う。
- ・ 各種セミナーや調査等、会員にとって有意義な情報を提供する場を設け、協議会や会員自身による事業展開の基礎を築く。

(3) 事業実施に際しては、本事業計画を骨格としつつ、会員からのアイデア・ノウハウを最大限に活かしながらブラッシュアップする。

## 2 事業内容

### (1) プロモーション事業

#### ア 国内線就航先向けプロモーション

国内線利用者の県内観光を推進するため、就航先(北海道)向けに「ちばの観光」や「成田空港の利便性向上」等のプロモーションを実施する。

[内容] ① 平成25年秋(札幌市内集客施設でのイベント開催等)

② 平成26年春(現地旅行業者を招へいした県内モニターツアー等)

#### イ 海外向けプロモーション

インバウンドによる県内観光を推進するため、関係機関・交通事業者(鉄道、バス、タクシー、エアライン等)と連携し、海外向けのプロモーションを展開する。

また、観光庁のビジット・ジャパン地方連携事業を活用し、神奈川県側と共同して、成田空港を起点としたレンタカーによるファミトリップを香港向けに実施する。

[内容] 平成26年春（現地旅行業者等を招へいし実施）

※ 香港は日本と同じく右ハンドル・左側通行

※ 圏央道～アクアラインを利用したコースを設定

#### ウ ビジネスプロモーション

成田空港を活用したビジネス展開の可能性を広げるため、会員を含め幅広い主体による取組と連携し、様々な機会を捉えてプロモーションを行う。

[内容]

例) 会員企業・団体が行う各種イベントでのPR・情報発信 等

### (2) 空港利用促進事業

#### ア 利用促進キャンペーン

“OUR AIRPORT”（私たちの空港）として成田空港をより積極的に利用してもらえるよう利用促進キャンペーンを展開する。

[内容]

例) 航空機利用者を対象としたキャンペーン(プレゼント・特典等)の実施  
県内交通機関等におけるキャンペーンPR

都内・首都圏近郊などで開催するイベントとのタイアップ 等

#### イ 空港内PRイベント

航空機利用に限らず幅広く空港への来訪を促し、「ナリタファン」の拡大へとつなげるため、空港内でのイベントを通じて、県産品・地域資源（農産物、日本酒、土産品等）の魅力を発信・PRする。（会員のニーズをふまえ具体化していく。）

### (3) 調査・広報事業

#### ア 外客受入体制整備セミナー

インバウンドによる県内観光の増加や定着、外国からのMICE関連客の県内引き込みを図るため、関係者の理解・認識の醸成に向けたセミナーを開催する。（会員のニーズをふまえ具体化していく。）

[内容]

例) ・ 外国人観光客受入の際に配慮すべき習慣、文化、嗜好等について

・ MICE開催・誘致の意義、その経済効果等について

#### イ ビジネスセミナー

成田空港や圏央道等の高速道路網を活用してビジネス創出を図るため、関係者の理解・認識を促進し、その後の事業展開に資するセミナー等を開催する。（会員のニーズをふまえ具体化していく。）

## ウ 航空旅客利用動向調査

県内の観光・産業振興等の取組に幅広く活用するため、航空旅客の最新の利用動向やニーズを把握するための調査を行う。

[内容] 出発客・到着客に係る利用目的・目的地、消費動向、認知度、利便性、空港アクセス手段等

### (4) 要望活動

成田空港の利便性向上のため、国等関係機関に対する要望を行う。

### (5) 会員提案事業の検討・実施

上記に加え、会員からの事業提案を募り、部会等で検討・具体化していく。

### (6) その他

協議会の活動を広報するため、各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにニューズレター等による情報発信により、会員間において活動状況や成果の共有を図る。